

### 蔵書紹介「<sup>かみつかさかうん</sup>上司海雲宛 <sup>あいづ やいち</sup>會津八一書簡」の受入について

文学部教授 浅田 隆



図書館では今年度の「特別集書」予算によって會津八一の書簡（封書13通、ハガキ111通）を購入した。いずれも上司海雲に宛てられた書簡である。などと紹介しても、會津八一が何者で、上司海雲が何者なのか、全く知らない人もいるに違いない。実はこの2人、私に言わせれば、「何者？」などと表現することさえ失礼にあたるほどの著名人なのだ。

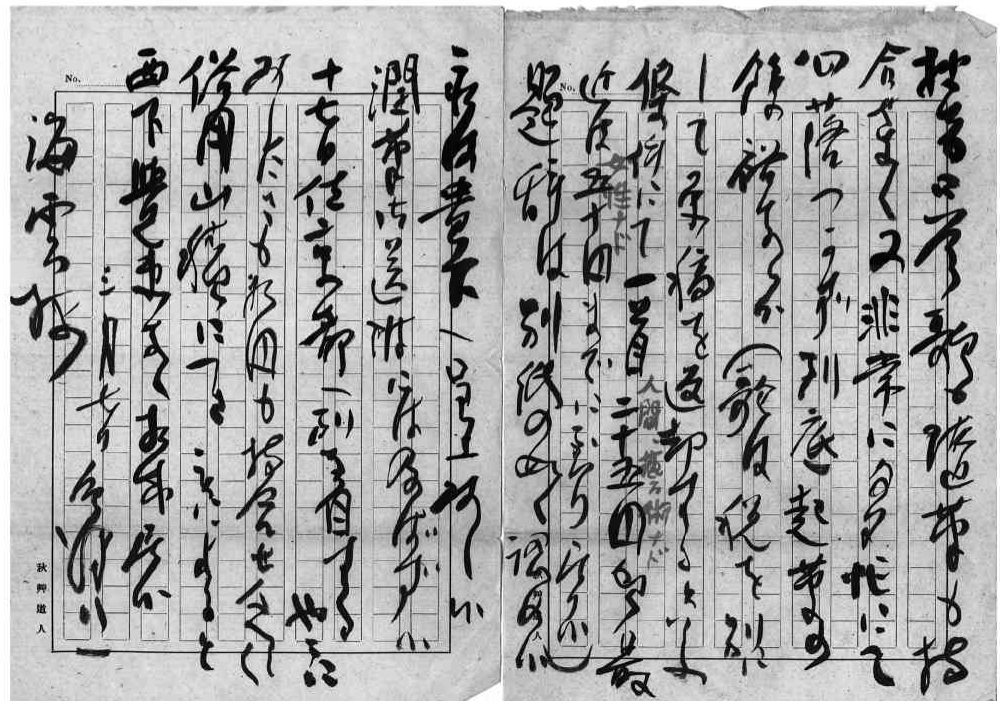
上司海雲は僧侶にして、硬派の文化人。昭和の戦後に東大寺の中での最高位・別当にもなったお坊さんで、小説家志賀直哉や歌人吉井勇などとも親交があった。壺を愛したことから壺法師とも呼ばれ、東大寺三月堂西南の観音院という塔頭に住んでいたことから、観音院さんとも呼ばれた。

一方、會津八一は新潟県出身、奈良への思いを歌集『鹿鳴集』に高らかに歌い上げた歌人。秋艸道人（しゅうそうどうじん）、渾齋（こんさい）などの雅号がある。本職は東洋美術史担当の早稲田大学教授で、法隆寺の研究により文学博士号を取っている。だが、會津八一は常に「〇〇の専門家」と呼ばれることを嫌った人で、「〇〇の専門家」ということは「〇〇」以外の事を知らないということである、自分は専門家と呼ばれるこ

とを拒否する、と明言し、あらゆる方面を極めようとした人だ。すごい心意気と言うべきだ。

上司海雲は前述のように多方面の文化人と交流を持っていた。奈良の文化財や風土に深い関心を寄せる會津八一との間にも、いつしか親交が生じたようだ。そうして、晩年の會津が上司に宛てて出した手紙・ハガキが、ある経緯からまとめて古書店に売りに出され、それを本学が入手することになった。これだけ高名な人たちの間の書簡ではあり、また會津が書家としても知られていることから、値段も半端ではなかったが、さいわい文部科学省からの助成金（平成18年度「私立大学等研究設備等整備費」）交付も決まり、受け入れることが出来た。

本学図書館では特色ある蔵書として、奈良関係の文献収集に力を注いでいる。新館1階の「奈良関係資料」コーナーは皆さんよくご存知のことと思うが、書架に並んでいるもののほかに、貴重なものは閉架書庫にも収蔵されている。この書簡は、本学図書館の奈良コレクションのなかでも、目玉の一つとなる



価値の高い資料と言ってよいだろう。内容についての紹介は図書館展示室で次年度中にお披露目とを考えているので、ここでは詳しくは触れない。

本学創学時の客員教授堀池春峰先生の編著書『東大寺』の出版に際する、序文をめぐる裏話が記されているのが興味深く、また奈良県下最初の會津八一歌碑である新薬師寺の「ちかづきて あふきみれとも みほとけの みそなはずとも あらぬさびしさ」建立の背景、春日大社神苑の「春日野の」の歌碑の裏話等、興味の尽きないものがある。

新潟県の會津八一記念館には上司から會津に宛てられた未公開書簡が20数通所蔵されているとのことで、両者を付き合わせればさらに興味深い事実が浮

かび上がってくることも期待できる。



## レファレンス・サービスのご案内

図書館レファレンス担当 奥野貞介

図書館のレファレンス・カウンターでは、利用者に各種サービスを提供しています。

第一はレファレンス・サービスです。図書館の利用法、文献の探し方、所蔵・所在の調査などについて情報を提供します。なかでもOPACから各種データベース（WebCAT、国会図書館雑誌記事索引、CiNii 論文情報ナビゲータ等）の操作方法など資料検索の方法等でわからないことがありましたら、遠慮なく質問してください。研究しているテーマについての資料の探し方等がわからずに困っている人、館内資料の配置場所がわからない人も、相談にきてください。また、情報処理センターの実習室を使って検索講習会も実施していますので、気軽に参加し



てください。

第二が相互協力サービスです。当館で所蔵していない資料（図書・雑誌文献）は、全国の国公立大学図書館及びその他研究機関から有料で取り寄せることが可能です。国内で入手不可能な資料は英国図書館（BL）からも取り寄せができます。

また、他大学の図書館や研究機関等を利用したいときは、奈良県下の大学であれば学生証だけで閲覧できるシステムや、京都方面の私立大学図書館を利用する際は「共通閲覧証」システムもあります。希望する方はカウンターにお申し付けください。

第三は、購入希望図書の受付です。図書館の蔵書として購入して欲しい資料があるときは、所定の用紙に必要事項を記入して提出してください。全てが購入されるわけではありませんが、近年、多くの申込があります。

なお、当館の相互協力件数は、昨年度の場合、学外からの複写受付：1,023件、貸借受付：255件に対して、学内からの複写依頼：851件、貸借依頼：202件で、受付超過傾向にあります。とくに遠方の国立大学図書館からの依頼が多く、また、学外への閲覧希望：69件、学外からの閲覧受付：205件となり、これも受付超過となっています。



# コンピュータ・システム「LIMEDIO」のバージョンアップについて

『みささぎ』第4号で、LIMEDIO（リメディオ）に「マイライブラリ」の機能が追加されたことをお知らせしました。これに加えて、今般、OPACの機能も強化されましたので、概要を紹介させていただきます。詳細は図書館ホームページの利用マニュアルをご参照ください (<http://library.nara-u.ac.jp/nara/yotei.htm>)。

## ●携帯端末（携帯電話）からも貸出資料の期間延長ができるようになりました。

期限までに返却できないときは貸出期間の延長ができます。ただし、その資料に他の利用者の予約が入っている場合は延長できません。利用するには、利用者ID（学籍番号）とパスワード（初期値：生年月日）が必要です。なお、この操作は、「マイライブラリ」から行うこともできます。

### －利用方法－

トップページ (<http://library.nara-u.ac.jp/>) から、携帯端末はここから → 3. 貸出情報 → 利用者ID（学籍番号）とパスワード（初期値：生年月日）を入力して認証を受けてください。右のような画面が表示されますので、「延長」を選択すると申し込めます。「延長」の表示がない場合は他に貸出希望者がありますので、当初の期日までに返却してください。

### 貸出情報

1. ID：728983  
2007/03/02 までに返却してください。延長

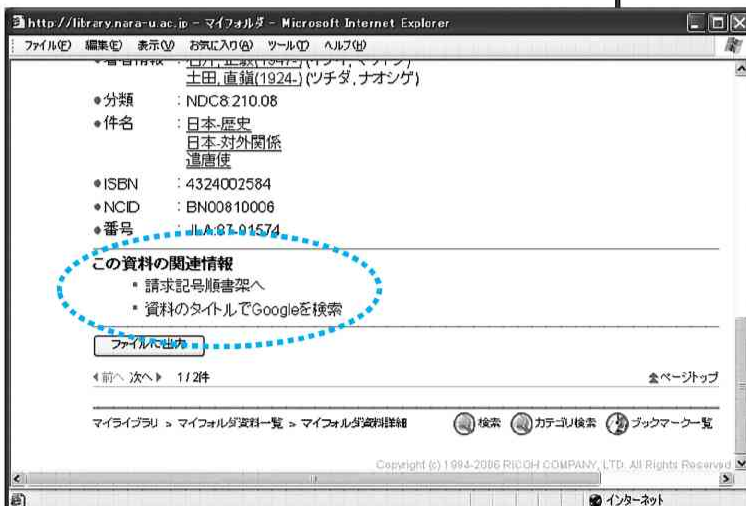
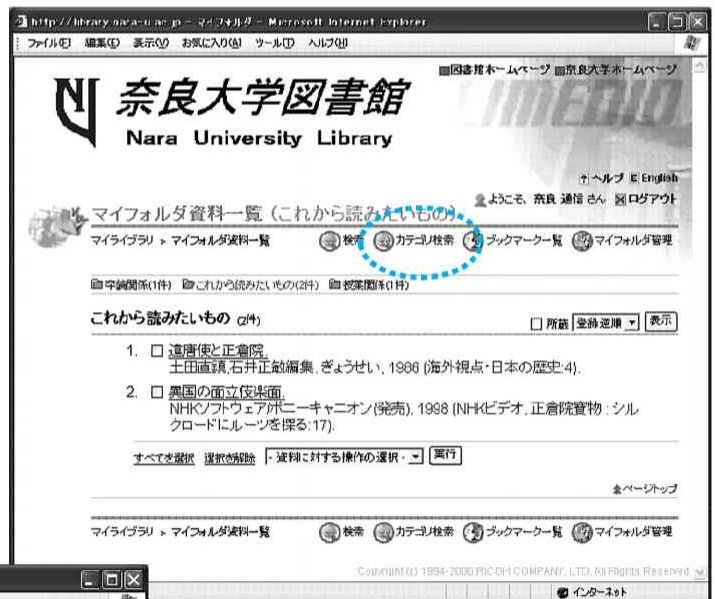
2. ID：336699  
2007/03/02 までに返却してください。延長

## ●ブックマーク情報をマイライブラリ内に保存できるようになりました。

検索結果をブックマークとして、任意のフォルダ内に保存可能できるようになりました。「今は必要ないけれども、いずれ利用したい資料」などを登録しておくくと便利です。

## ●「カテゴリ検索」ボタンを追加しました。

クリックすると指定図書コーナー、新着図書コーナー、就職コーナーへ配架されている資料情報が一覧できます。



## ●資料の関連情報を追加しました。

検索詳細画面では、下部の「この資料の関連情報」に「請求記号順書架へ」・「資料のタイトルでGoogleを検索」の各ボタンが追加されました。表示をクリックするとそれぞれのページに移ります。お試しください！

●検索結果一覧の表示順が変更できるようになりました。

検索結果一覧のページで、表示順が変更できるようになりました。資料の出版年やタイトルなどでソートできます。「新しい順に文献を探したい」場合などに便利です。

今後もLIMEDIOは成長を続けます。新しい機能が追加されましたらホームページ等でお知らせいたしますので、どうぞご利用ください。



## 図書館展示報告 (平成18年度)

図書館展示室では平成18年度、下記のテーマで5回の企画展を開催しました。

今年度は各回とも新聞の記事で紹介いただき、学外から多くの来館者がありました。企画立案からパンフレット作成まで、全面的にご助力いただいた各先生に深く感謝いたします。

今後も本学の特色を活かした展示を実施して行きたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



回	テーマ	企画	会期
1	「広重画『東海道五拾三次』版木」展	永井一彰教授	4月17日～6月30日
2	「和州郡山城下の『町割図』」展	土平 博講師	7月10日～9月30日
3	「竹久夢二著作展～本で見る大正のロマン 夢・郷愁の世界～」展	藤本寿彦教授	10月11日～10月25日
4	「眼で見て楽しもう、日本近代のブックデザイン ～竹久夢二を中心に～」展	藤本寿彦教授	11月1日～12月8日
5	「海を越えた教え：インド・ゴアにおける キリスト教宣教師と出版」展	松川恭子講師	12月18日～2月28日

## 後記

奈良大学図書館報第5号をお届けいたします。原稿をご執筆頂きました浅田先生には心よりお礼を申し上げます。米年度には會津八一書簡の展示を予定しております。お楽しみに。(編集担当)

発行：平成19年2月28日  
編集：奈良大学図書館 奈良市山陵町1500